

2011年11月28日

ファイバーレーザを搭載した新型レーザ加工機 OPTIPLEX 3015 Fiber を発表

ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎智久、愛知県大口町、TEL:0587-95-1131)は、2011年7月に発表したCO₂レーザ加工機 OPTIPLEX 3015(オプティプレックス)をベースとしてファイバーレーザ発振器を搭載した新機種『OPTIPLEX 3015 Fiber (ファイバー)』を開発。11月14日から米国 イリノイ州 シカゴで開催された 米国溶接国際見本市 2011 FABTECH&AWS ショーで発表し、日本でも今回の発表により販売を開始します。

当機は高い駆動性能とファイバーレーザ特有のビームにより、鉄やステンレス・アルミの薄板加工に於いて、一般的な高出力CO₂レーザ加工機と比較すると30%以上生産性向上を実現します(当社実測値)。レーザガスや光学部品パージ用ガスが不要になり、電力を大幅に抑え、環境保全に適応します。

ファイバーレーザ加工機 OPTIPLEX 3015 Fiber



お問合せ先 : ヤマザキマザック株式会社 営業統括部広報企画課
TEL: 0587-95-1144 www.mazak.jp

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。
ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください。